

上」が開催されました。地域社会 年で六回目です。 に対する科学啓発活動として今 合わせて「海南高校サイエンスカフ 九月十四·十五 日の文化祭に

サイエンスプラン

と科学部の生徒が行ってきた課題 催される「SSH研究発表会」に 験を通して、十二月二十日に開 場面もあったようです。今回の経 明しようと試行錯誤していました も含まれるため、わかりやすく説 セッションは、教養理学科の二年生 ョン」と科学実験教室の「サイエンス たいと思います。 向けて課題研究をまとめてもらい 研究の中間発表です。難しい内容 プラン」が行われました。ポスター 研究発表である「ポスターセッシ 思いがけない質問に戸惑った

笑顔を見せてくれていました。 スでも子どもたちは、楽しそうな 学部主催で行いました。どのブー せてみよう」「人工イクラ」等を科 う」「レゴロボット」「エコカーを走ら 主な対象として「液体窒素」「ホバ クラフト」「竹トンボを飛ばそ サイエンスプランでは、小学生を

> た。 回高校化学グランドコンテストが行われまし 月四日(日)、 大阪市立大学で第九

年は、 ことを学ぶことができました。今年は、 の還元糖による効率の向上に関する研究 参加し、レベルも大変高かったですが、 究方法、今後の研究の方向性について多くの の先生方から貴重なご助言をいただき、 多くの高校生や先生方、大学の先生方が熱 というテーマでポスター発表を行いました。 る予定です。この大会に向けてさらに研 成果が認められ七位以上の「ポスター賞」を から最多の四十九チームがポスター発表に 心に発表を聞いて下さいました。また、大学 な大会です。 いただき、九年連続の入賞となりました。 これは、「化学の甲子園」とよばれる大き 一年生四名が参加し「色素増感光電池 十年の節目で「国際大会」が開催され 本校科学部からも二年 全国 研 来



0

